

群馬県立世界遺産センター

第3回セカイト講演会

北関東有数の工業都市、伊勢崎市。

その「モノづくり」の原点。

伊勢崎の絹産業

さんしゅ めいせん
～蚕種から銘仙まで～



Yaei Tajima
(1822-1898)



▶本年が田島弥平の生誕200周年という節目の年であることから、蚕種製造に尽力し、ひいては日本の絹産業の発展に大きく貢献した同氏の功績を振り返るとともに、伊勢崎が誇る織物「伊勢崎銘仙」を通して、日本の絹産業の発展と絹の大衆化をテーマに、下記のとおり2部構成の講演会を開催します。

日時 令和4年11月26日(土)

13:30～16:30 (受付は13:00から)

会場 糸の郷・円形交流館多目的ホール

定員 100名 (無料・要事前申し込み、申し込み期間は11月1日(火)～11月25日(金))

詳細は本紙面下部やホームページ等をご確認ください

講師 第1部 「田島弥平 その多彩な活動と業績」

宮崎 俊弥 氏 (共愛学園前橋国際大学名誉教授)

第2部 「世界史から見た銘仙」

井上 直子 氏 (城西大学経済学部准教授)

まとめ 石井 寛治 氏 (東京大学名誉教授、群馬県立世界遺産センター名誉顧問)

その他

- ・右記①「ぐんま電子申請受付システム」または②Eメール (sekaiisan@pref.gunma.lg.jp)、③FAX (0274-67-7822) の何れかの方法で必要事項を記載の上、群馬県立世界遺産センターへお申し込みください。1件につき4名まで申し込み可。
- ・群馬県主催イベント等のガイドラインに基づき、引き続き会場内では新型コロナウイルス等の感染拡大防止にご協力ください。
- ・本講演会は「湯けむりフォーラム」企画の一部として、後日群馬県公式Youtubeチャンネル「tsulunon」にて配信予定です。
- ・本紙裏面に講師プロフィール、会場案内図がありますのでご参照ください。

【申し込み】
ぐんま電子申請受付
システムへ▼



問合せ 主催：群馬県立世界遺産センター TEL 0274-67-7821

共催：伊勢崎市 (文化財保護課) TEL 0270-75-6672

講師プロフィール

宮崎 俊弥 Toshiya Miyazaki 共愛学園前橋国際大学名誉教授

東京教育大学大学院農学研究科修了。県立高校教員、県史編さん室職員などを経て、平成11（1999）年より同25（2013）年まで共愛学園前橋国際大学に勤務。現在、同大学名誉教授。桐生文化史談会会長。田島弥平旧宅史料調査部会委員。日本近現代史（特に群馬県の蚕糸業史）専攻。著書に『群馬県の百年』（共著）、『群馬県農業史 上・下』等

井上 直子 Naoko Inoue 城西大学経済学部准教授

京都大学経済学部卒。東京大学大学院（地域文化研究）修士、トリエステ大学大学院（地域政策）博士。東京大学大学院博士課程（西洋経済史）単位取得退学。現在は絹屑糸紡績産業の日本における勃興とグローバル市場について研究中。主な著書に『ヨーロッパ統合と国際関係』（共著、日本経済評論社 2004）、‘Silk Waste, Spun Silk, and Meisen Kimono: Technological Transfer and Emergence of New Industry in Japan from the late 19th Century to the 1930s’, in Miki Sugiura (ed.), “Transformations of Use and Value, c.1700-2000”, Tokyo: ICES, Hosei University Publishing, March, 2019.(2019 年 3 月) 等。

石井 寛治 Kanji Ishii 東京大学名誉教授、群馬県立世界遺産センター名誉顧問

東京大学経済学部経済学科卒業、同大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。経済学博士（東京大学）。東京大学経済学部助手、同助教授、同教授、東京大学経済学部長、東京経済大学経営学部教授を歴任。現在、東京大学名誉教授、日本学士院会員、群馬県立世界遺産センター名誉顧問。専門は近代日本経済史。主な著書に『日本蚕糸業史分析』（東京大学出版会、1972 年）、『近代日本とイギリス資本』（同前、1984 年）、『資本主義日本の地域構造』（同前、2018 年）等

世界遺産 「富岡製糸場と絹産業遺産群」

アクセス



緋の郷（かすりのさと）

〒372-0014 群馬県伊勢崎市昭和町1712-2

TEL 0270-21-6711

【自動車】北関東自動車道「伊勢崎IC」、「波志江スマートIC」から約10分

【電車】JR両毛線・東武伊勢崎線「伊勢崎駅」から徒歩約20分



「富岡製糸場と絹産業遺産群」は、長い間生産量が限られていた生糸の大量生産を実現した「技術革新」と、世界と日本との間の「技術交流」を主題とした近代の絹産業に関する世界遺産です。構成資産のひとつである田島弥平旧宅は、通風を重視した近代養蚕法「清涼育」を大成した田島弥平が考案した住居兼蚕室です。この構造はやがて全国各地に広まり、近代養蚕農家建築の原点となりました。